

令和3年度 ノーステック財団「ものづくり開発推進事業」（札幌市補助事業） 補助金交付決定事業者一覧

対象分野	事業計画名	事業の概要	企業・団体名
IT	北海道の企業と北海道の就活生を応援する就職サイト	道内中小企業の採用は合同会社説明会（合説）が頼みの綱であったが、コロナの影響で合説での接触学生の数が大幅に減少し、ナビサイトへ傾注しなければならない状況にあるが、大手就職サイトは利用料金が高額で、新卒の採用に莫大な費用がかかってしまう。そこで弊社では、安価で利用できる「北海道で働きたい就活生と北海道の中小企業の架け橋となる北海道独自の就職サイト」の開発を行うもの。開発内容としては、①インターンシップサイトとランドサイトの統合、②エリア検索機能の充実、③各社の自社サイト採用ページへのリンク、④LINEアプリを開発する。	有限会社エイチ・ピー・エヌ 【札幌市】
介護支援	AIケアプラン・介護記録ソフトCareViewerとIoT等汎用機器とのデータ連携機能についての開発	介護事業所では、慢性的な人手不足問題をはじめ、近年はコロナウィルス感染拡大防止のための経費・時間が発生したことからの収益性が悪化しており、コスト削減や生産性向上へのニーズが高まっている。しかしながら、介護現場へ向けて開発・提供されている各ソフトウェア（介護記録電子化ソフトウェア、ベッドセンサー、バイタル測定機器等）は他社製品とのデータ連携が取れないものが多く、同じ情報を各々のソフトウェアに登録をしているなど、生産性が非常に低いことから、この問題を解決するため、自社製品であるAIケアプラン・介護記録ソフトCareviewerにIoT機器やウェアラブル端末等、メーカー・機器を問わないデータ連携を可能とするデータ連携機能を開発する。	株式会社さくらコミュニティサービス 【札幌市】
健康福祉・医療	医療機器分野における事業拡大を目指した医療被曝線量計の改良	近年、盛んに行われるようになったIVR治療は患者の身体的負担も少なく癌治療、心筋梗塞などに有効であるが、長時間のX線透視が必要なため、患者の皮膚障害や術者の白内障発症などが問題となっている。この問題に対応するため、弊社は北海道大学との共同研究プロジェクトにて医療被曝線量計MIDSOFを2014年1月に上市した。MIDSOFはIVR施術中に患者の皮膚被曝線量を計測可能な数少ない製品であるが、IVR施術中は過度な被曝集中を避けるために医師がX線透視方向を変えながら治療を行うことから、複数箇所同時に測定できる性能を加えた、安価な多点型医療被曝線量計を開発する。	太宝電子株式会社 【札幌市】
食	コロナ禍で苦しむ顧客支援と食品ロスの削減のための地産地消・高級レトルトカレーの新商品開発と製造方法の確立	地産地消にこだわった具材入りの道産レトルトカレーの新たな製造方法を確立し、具材の食感や形、味わいを担保した、高付加価値で長期保存可能な全く新しいレトルト食品を開発し、コロナ禍で苦境に立っている外食産業やホテル事業者などを含め、レトルト食品市場や通信販売などの外部販売事業への参入を目指す。	株式会社南華園 【札幌市】
介護支援	認知機能進行を抑える個人に最適なアプローチ方法のシステム化	高齢化が進み平均寿命が延伸している日本において、認知症の進行を抑え、介護費用（政府の試算では2034年に必要な60歳以上の介護費は約14兆5千億円）を抑える必要がある。しかしながらリハビリ専門スタッフが実施する利用者向け認知機能プログラムはIT化が遅れているため、AI技術を活用したリハビリ専門スタッフ以外の者でも実施可能な「それぞれの利用者にあった最適なプログラム（個別リハビリ）」のシステムを開発する。	株式会社ネクスウェル 【札幌市】
健康福祉・医療	高精度非侵襲血中にこり測定器の開発	動脈硬化の主な原因である食後高脂血症は現代日本人の主な死因になる疾患を引き起こし、日常生活における検査が必要な生活習慣病に分類される。脂質はリポタンパク粒子に含まれ、血液のニゴリの原因である。弊社はこの粒子に対する光の散乱原理から生体血液ニゴリを測定する方法を独自に開発し、空腹時に対する食後の脂質を推定する非侵襲ヘルスケア測定器を開発した。今回新たに表皮から血管までの組織と血液の情報を段階的に計測する手法を開発する。これにより、リポタンパク粒子に関して医療機器レベルの精度向上が期待でき、脂質に関する日常健康管理のみならず研究分野に利用されることで、脂質代謝経路の解明等に役に立つと考えられる。	メディカルフォトンクス株式会社 【札幌市】